

授業科目 レクリエーション基礎論

【担当教員名】 小田切 毅一	対象学年	1	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

レクリエーション指導をするに当たって必要な、基礎的な理論と原理を学ぶとともに、レクリエーションを必要とする現代生活の多様な局面に応じて、レクリエーションを指導・管理するための基礎的教養を身につける。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 労働と余暇の関係論に基づいてレクリエーションを説明できる
2. 社会運動としてのレクリエーションの運動の意義について説明できる
3. 現代社会におけるレクリエーション指導の意義について説明できる
4. ニュースポーツ論とかかわるレクリエーション指導の要請に応える基本的説明が出来る

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	レクリエーションの基礎論：レクリエーションとは？		
2	レクリエーション、その遊び論的広がり		
3	レクリエーションの構造論、労働と余暇の関係論から		
4	レクリエーション今昔、古くて新しい活動やゲーム考		
5	社会運動としてのレクリエーション（1）：モデルとしてのアメリカの事例など		
6	社会運動としてのレクリエーション（2）：日本における展開から学ぶ		
7	<小括>レクリエーションの基礎論まとめ		
8	指導・管理される遊び＝レクリエーション		
9	人間関係論の視野からみたレクリエーション指導		
10	産業・職場論の視野からみたレクリエーション指導		
11	余暇行動論の視野からみたレクリエーション指導		
12	福祉社会論の視野からみたレクリエーション指導		
13	ニュースポーツ論の視野からみたレクリエーション指導		
14	<小括>レクリエーション指導論まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	授業の際に、適宜資料を配付			
参考書	菟田碩哉『遊びと仕事の人間学』遊戯社			
その他の資料	日本レクリエーション協会編『豊かに遊べる仕組みをつくる』日本レクリエーション協会			

【評価方法】 出席および小レポート(毎時間)：50%、 期末試験：50%	【履修上の留意点】
--	-----------